

達第百十六號

海軍服裝規則中左ノ通改正ス

明治四十三年九月七日

海軍大臣 男爵齋藤 實

第三十五條ノ二 海軍大學校甲種學生卒業者徽章、艦砲射擊優等徽章、魚形水雷發射優等徽章、通信術優等徽章、汽艇優等徽章、艦砲射手優等章、魚形水雷照準手優等章、通信術優等章、小銃射擊優等章、汽艇優等章及潜水艇修業徽章ハ第三十四條ノ規定ニ準シ上衣ノ右乳部ニ佩フヘシ但シ艦砲射擊優等徽章以下二個以上ヲ併用スルモノハ本條記載ノ順序ニ内方ヨリ外方ヘ一列ニ佩スルモノトス

0516

達第百十七號

海軍人事部處務規程中左ノ通告正ス

明治四十三年九月七日

海軍大臣 男爵 齋藤 實

第三條中「豫備役、後備役」ノ下ニ「歸休」ヲ加フ

第七條中「順序ヲ經テ海軍大臣ニ進達スヘシ但シ第一表第二表第六表及第七表ハ機密文書ノ取扱トシ」ヲ「機密文書ノ取扱トシ順序ヲ經テ海軍大臣ニ進達スヘシ但シ第一表第二表及第五表乃至第八表ハ」ニ改メ又人事部定期進達諸表第五表ヲ「證書證狀、（註）等々、善行章所有者及練習生調」ニ改メ第八表ヲ「兵曹長同相當官准士官現狀月表」ニ改メ第一表乃至第五表及第八表ヲ別表ノ通告ム

百五十二

海軍

0517

明治 年 月 一日現役下士調

海軍人事部長印

官名	現員	補充シ得ル者	現定員	他所	補充シ得サル者	計	考備
一等兵曹							
二等兵曹							
三等兵曹							
一等軍樂手							
二等軍樂手							
三等軍樂手							
一等船匠手							
二等船匠手							
三等船匠手							
一等機關兵曹							
二等機關兵曹							
三等機關兵曹							
一等看護手							
二等看護手							
三等看護手							
一等筆記							
二等筆記							
三等筆記							
一等厨宰							
二等厨宰							
三等厨宰							
小 一等下士							
二 二等下士							
三 三等下士							
合計							

一、補給員欄内ニハ實地研究ノ爲メ各部ニ配附シタルモノヲモ算入スヘシ
 二、現定員欄内ニハ艦船現役務ノ定員及臨時増派員等ノ合計ヲ記入スヘシ

明治 年 月 分 下士異動調 海軍人事部長印

官名	俸給別		現在員	月一日任用	増俸	再服役	豫備役編入		免官		死亡	准士官進級
	一級俸	二級俸					滿期	疾病事故	滿期	疾病事故		
一等兵曹	一級俸	二級俸										
二等兵曹	一級俸	二級俸										
三等兵曹	一級俸	二級俸										
一等軍樂手	一級俸	二級俸										
二等軍樂手	一級俸	二級俸										
三等軍樂手	一級俸	二級俸										
一等船匠手	一級俸	二級俸										
二等船匠手	一級俸	二級俸										
三等船匠手	一級俸	二級俸										
一等機關兵曹	一級俸	二級俸										
二等機關兵曹	一級俸	二級俸										
三等機關兵曹	一級俸	二級俸										
一等看護手	一級俸	二級俸										
二等看護手	一級俸	二級俸										
三等看護手	一級俸	二級俸										
一等筆記	一級俸	二級俸										
二等筆記	一級俸	二級俸										
三等筆記	一級俸	二級俸										
一等厨宰	一級俸	二級俸										
二等厨宰	一級俸	二級俸										
三等厨宰	一級俸	二級俸										
合計												

一、進級増俸ノ人員ハ進級増俸シタル欄ニ記入スヘシ例ヘハ二等兵曹ヨリ一等兵曹ニ進級ノ人員ハ一等兵曹四級俸ノ欄ニ二級俸ヨリ一級俸ニ増俸ノ人員ハ一級俸ノ欄ニ記入スルカ如シ

一、再服役ハ再服役ニ就ク前日ヲ以テ調査スヘシ

一、本表ハ毎月一日調ヲ以テ前月分ノ異動ヲ調査スルモノニシテ現在員欄ニハ調製日ノモノヲ記入スヘシ

明治 年 月分卒異動調 海軍人事部長印

職名	月一日ノ現在員		進級 (入團ノ分)	再服役	豫備役編入		免役		死亡
	満期	疾病事故			満期	疾病事故			
一等水兵									
二等水兵									
三等水兵									
四等水兵									
五等水兵									
一等軍樂生									
二等軍樂生									
三等軍樂生									
四等軍樂生									
五等軍樂生									
一等木工									
二等木工									
三等木工									
四等木工									
五等木工									
一等機關兵									
二等機關兵									
三等機關兵									
四等機關兵									
五等機關兵									
一等看護									
二等看護									
三等看護									
四等看護									
五等看護									
一等主厨									
二等主厨									
三等主厨									
四等主厨									
五等主厨									
合計									

一、志願兵ノ人員ハ墨書シ徴兵ノ人員ハ朱書スヘシ
 一、進級ノ人員ハ進級シタル欄ニ記入スヘシ例ヘハ二等水兵ヨリ一等水兵ニ進級ノ人員ハ一等水兵ノ欄ニ記入スルカ如シ
 一、再服役ハ再服役ニ就ク前日ヲ以テ調査スヘシ
 一、本表ハ毎月一日調ヲ以テ前月分ノ異動ヲ調査スルモノニシテ現在員欄ニハ調製日ノモノヲ記入スヘシ

明治 日年 兵曹長同相當官准士官現狀月表 海軍人事部

事 記	上 等 筆 記	筆 記 長	看 護 師	看 護 長	上 等 機 關 兵 曹	機 關 兵 曹 長	船 匠 師	船 匠 長	軍 樂 師	軍 樂 長	電		信		帆		水		砲		官 名
											上 等 兵 曹	兵 曹 長	上 等 兵 曹	兵 曹 長	上 等 兵 曹	兵 曹 長	上 等 兵 曹	兵 曹 長	上 等 兵 曹	兵 曹 長	
																					現 役
																					教 員
																					艦 裝 員 附
																					監 督 助 手
																					學 生
																					鎮 守 府 附
																					他 所 管 貸 出
																					待 命
																					休 職
																					停 職
																					計
																					准 官 務 得 心 士 職

0524

達第百十八號

明治四十二年三月達第二十六號海軍用火藥火工品貯藏及取扱規則中左ノ通追加改正ス

明治四十三年九月九日

海軍大臣 男爵齋藤 實



第四十九條中「種目、口分ケ毎ニ區分シ」ヲ「其ノ種類毎ニ區分シ」ニ改ム

第五十二條ヲ第五十二條ノニ改メ左ノ一條ヲ追加ス

第五十二條 無煙火藥ノ消耗ハ安定度比較的低キモノ又ハ海水ニ浸サレタルモノ等ヲ先

ニスヘシ又安定度同一ノモノニシテ製造年月ヲ異ニスルモノハ其ノ舊キモノヲ先ニス

ヘシ

第五十八條中「場所ニテ乾燥セシムヘシ」ヲ「場所ニテ乾燥シタル後速ニ貯藏検査ヲ施行

シ且銀燬時間ノ如何ニ拘ラス別口トシテ貯藏スヘシ」ニ改ム

第六十二條ヲ左ノ如ク改ム

第六十二條 銀燬時間ノ長短ニ依リ同一種目ノ火藥ヲ區別スルニハ在庫品タルト艦船供

百五十二 海軍

用品タルトニ關セス左ノ如キ口分ケトシテ貯藏スルモノトス

尋常紐狀火藥

一、銀燬時間二百時間以上
二百五十時間未満

一口

二、銀燬時間二百五十時間以上ハ各百時間ヲ増ス毎ニ各一口

M.D. 無煙火藥

一、銀燬時間四百時間以上
五百時間未満

一口

二、銀燬時間五百時間以上ハ各二百時間ヲ増ス毎ニ各一口

耐熱時間ノ多少ニ依リ同一種目ノ火藥ヲ區別スルニハ在庫品タルト艦船供用品タルト

ニ關セス耐熱時間各一分毎ニ口分ケトシテ貯藏スルモノトス但シ無煙火藥貯藏検査規

則ニ依リ銀燬試験ヲ施行セサル火藥ニ對シテモ事情ノ許ス限り可成銀燬試験ヲ施行シ

前項ノ如ク口分ケスルヲ可トス

(口分ケト稱スルハ同時期ニ施行シタル銀燬時間ノ長短若ハ耐熱時間ノ多少ニ依リ

同一種目ノ火藥ヲ區分スルヲ云フ

0525

但シ銀塚時間若ハ耐熱時間同一ナルモ異リタル場所ニ貯藏シタルモノニ對シテハ新
ニ試験ヲ爲シテ口分ケヲ定ムル迄之ヲ別口トシテ貯藏シ置クモノトス

百五十四

海軍

0526

大正十三年
達第百十九號
十三号ノ以
本改正

改正

達第百十九號

海軍病院規則左ノ通告正ス

海

明治三十三年達第百七十七号

明治四十三年九月十五日

海軍大臣 男爵齋藤 實

海軍病院規則

第一條 院長ハ部下諸員ノ職務ヲ監督シ之ニ分課ヲ命スヘシ

院長ハ病院附軍醫官、藥劑官ニ分課ヲ命シタルトキハ之ヲ報告スヘシ

第二條 院長ハ其ノ院ノ内規及日課表ヲ制定シ所屬長官ノ承認ヲ經テ之ヲ施行スヘシ

第三條 院長ハ部下諸員ノ性行技能及服務ノ狀況ヲ詳知シ其ノ學術技能ヲ發達セシムル

ニトヲ圖ルヘシ

第四條 院長ハ緊急呼集、火災等ニ關スル部署ヲ定メ時々其ノ操練ヲ行ヒ部下諸員ヲシ

テ之ニ習熟セシムヘシ

第五條 院長ハ院内諸建築物ノ保存ニ注意シ其ノ増築改造修繕等ヲ要スルトキハ之ヲ所

百五十五

海軍

屬長官ニ具申シ又醫務局長ニ報告スヘシ

第六條 院長ハ院内一般ノ衛生ニ注意シ各主務者ヲ從ヘ時々院内ヲ巡檢シ病室其ノ他各

部整頓ノ狀況ヲ點檢スヘシ

第七條 院長ハ備品ノ保存及貯藏ノ方法ニ注意シ藥品及消耗品ノ節約ヲ圖ルヘシ

第八條 院長ハ入院患者中現役若ハ兵役ニ堪ヘ難シト認ムル者アルトキハ診斷證書ヲ添

ヘ之ヲ所屬長官ニ具申スヘシ

第九條 院長ハ院内下士卒中傳染性生殖器官病ニ罹リタル者アルトキハ病中ハ勿論療後七

日間外出ヲ止ムヘシ

第十條 院長ハ死狀疑義ニ涉リ局處剖驗ヲ要スル者アルトキハ規定ノ手續ヲ經テ之ヲ施

一行シ其ノ剖驗記事ヲ所屬長官及醫務局長ニ出スヘシ但シ刑事ニ關係ノ嫌疑アルトキハ

主理立會ノ上執行スヘシ

第十二條 院長ハ汽罐及汽機ノ保存、検査、修理及改造等ニ關シ技術上ノ意見ヲ要スルト

キハ所屬長官ニ具申シ同官ノ指定シタル機關官若ハ造船官ノ意見ヲ求メテ處理シ又陸

0527

上鑑定期水壓試驗並鐵通試驗規則ニ依リ汽鑪ノ試驗ヲ行フヘシ

第十二條 院長ハ軍醫少監及大軍醫ヲシテ交番當直ノ勤務ニ服セシメ之ヲ當直軍醫官ト稱シ其ノ規定ニ依リ院務ヲ處理セシメ又中軍醫及少軍醫ヲシテ交番當直ノ勤務ニ服セシメ之ヲ副直軍醫官ト稱シ當直軍醫官ノ命ヲ承ケ服務セシムヘシ

第十三條 院長ハ當直軍醫官ノ任ニ當ルヘキ者三名ニ滿タサルトキハ其ノ數ニ達スル迄軍醫中監、中軍醫及少軍醫ヲシテ當直軍醫官ノ勤務ヲ爲サシムルコトヲ得

第十四條 院長ハ副直軍醫官ノ任ニ當ルヘキ者三名ニ滿タサルトキハ其ノ不足數ニ對スル副直ハ之ヲ缺キ或ハ少軍醫候補生ヲ以テ之ニ當ラシムルコトヲ得

第十五條 院長ハ藥劑官ヲシテ各公暇日ニ交番出勤シ調劑ニ關スルコトヲ處理セシメ又必要アルトキハ宿直ヲ爲サシムヘシ

第十六條 副長ハ常ニ院内全般ノ事項ニ注意シ院務ノ整頓ヲ圖リ院長不在ノトキハ其ノ代理ヲ爲スヘシ

第十七條 副長ハ院内諸員ノ服務現況ニ注意シ其ノ性行技能ヲ詳知スヘシ

第十八條 副長ハ院長ノ命ヲ承ケ定員下士卒ノ配置ヲ掌リ又定員下士卒及五等卒ノ教育ヲ統轄スヘシ

第十九條 副長ハ毎日醫事日誌病室日報ヲ調査シ之ヲ院長ニ提出スヘシ

第二十條 副長ハ每週一回院内諸部ヲ點檢シ洒掃通氣其ノ他衛生上ノ實況並建築物、備付治療品、被服、糧食、通常物品ノ保管補充使用ノ適否等ヲ觀察スヘシ

第二十一條 第一部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 外科(眼科、耳鼻咽喉科、皮膚病、花柳病ヲ含ム)患者ノ診療及之ニ關スル事務

二 手術室、X光線室及寫眞室ノ整頓

第二十二條 第二部ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 内科(傳染病、精神病ヲ含ム)患者ノ診療及之ニ關スル事務

二 細菌學的及病理學的検査

三 消毒作業(消毒所ニ於ケル作業ヲ除ク)

四 病的検査室、消毒室ノ整頓

五 醫務ニ關スル統計報告

第二十三條 藥劑科ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 經國其ノ他各部用治療品ノ購買準備保管供給賣却出納修理及運搬ニ關スルコト

二 供用定備療用品ノ調査

三 病院及所在各處ノ患者糞ニ屬スル通常物品ノ保管出納ニ關スルコト

四 病院用治療品ノ保管受拂ニ關スルコト

五 調劑及製煉ニ關スルコト

六 藥品、療用品、飲食物、食器、被服地等ノ理化學的検査

第二十四條 看護術練習所ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二十五條 消毒所ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

一 糞船其ノ他ノ大消毒

二 所屬病室ニ收容シタル患者ノ診療

第二十六條 部長、科長及所長ハ配屬セラレタル軍醫官、藥劑官以下ノ性行技能ヲ詳知シ

百五十七

海軍

學術技能ノ進歩ヲ圖リ分掌ヲ指定シ之ヲ指揮シテ其ノ所掌事項ヲ處理スヘシ

第二十七條 部長、科長及所長ハ所屬看護手看護ノ考課表及勤務報告ヲ査閱シ之ニ意見ヲ記入シ副長ヲ經テ院長ニ提出シ且其ノ職務進退ノ職ニ參與スヘシ

第二十八條 部長、科長及所長ハ毎月擔任各部備付ノ治療品及通常物品ヲ調査シ其ノ保存補充ニ注意スヘシ

第二十九條 部長ハ擔任患者中現役或ハ兵役ニ堪ヘ難シト認ムル者アルトキハ之ヲ院長ニ開申シ其ノ命ヲ承ケ診斷證書ヲ起案スヘシ

第三十條 部長ハ擔任患者中病症危篤ニ陥ル者アルトキハ之ヲ院長ニ開申シ又之ヲ患者ノ所屬艦團其ノ他各部ニ通報スヘシ

第三十一條 部長ハ擔任患者中轉病スル者アリテ軍醫官服務規則第十八條ノ種別ニ異動ヲ生スルトキハ速ニ之ヲ患者所屬ノ艦團其ノ他各部ニ通報スヘシ

第三十二條 部長ハ患者日誌、處方簿、疾病要略ヲ調査スヘシ

第三十三條 第二部長ハ傳染病患者ノ診定ヲ爲シタルトキハ診定報告ヲ調製シ院長ニ提

出スヘシ

第三十四條 藥劑科長ハ施行シタル検査ノ成績書及物品検査成績年報ヲ調製シ院長ニ提出スヘシ

第三十五條 當直軍醫官ハ左ノ事項ヲ處理スヘシ

- 一 日課ノ施行
- 二 外來事務ヲ接受シ各主務者ニ傳達スルコト
- 三 院内巡檢下士卒點檢並糧食品及食餌ノ點檢
- 四 面會人ニ關スルコト
- 五 醫事日誌及病室日報ノ記入
- 六 患者入退院ニ關スルコト
- 七 退院時間後ニ於ケル入院患者ノ臨時診察
- 八 院内警察

第三十六條 當直軍醫官ハ退院時間後ハ院内全般ノコトニ注意シ至急常規外ノ處置ヲ要スルコトアルトキハ速ニ院長若ハ副長ニ報告シ其ノ指揮ヲ受クヘシ但シ急遽ニシテ指揮ヲ受クルニ違ナキトキハ適宜之ヲ處置シ後報告スルコトヲ得

第三十七條 當直軍醫官ハ退院時間後ニ於テ入院患者中ニ至急手術其ノ他重大ノ處置ヲ要スルト認ムル者アルトキハ速ニ之ヲ部長ニ報告スヘシ

第三十八條 副直軍醫官ハ當直軍醫官ノ命ヲ承ケ其ノ事務ヲ補助スヘシ

第三十九條 軍醫官ハ各病室ヲ分擔シ配置下士卒ヲ統御シ在室患者ノ診療ニ從事スヘシ

第四十條 軍醫官ハ毎日定時ニ分擔病室ノ患者ヲ廻診シ患者日誌處方録等ヲ正確ニ記入整理スヘシ

第四十一條 軍醫官ハ分擔病室ヲ院長若ハ部長廻診スル際ハ之ニ隨從スヘシ

第四十二條 軍醫官ハ分擔ノ病室ニ新入患者アルトキハ速ニ之ヲ診察シ其ノ狀況ヲ部長ニ報告スヘシ

第四十三條 軍醫官ハ分擔患者中病症危篤ニ陥リ或ハ至急手術ヲ要スル者アルトキハ速

ニ之ヲ部長ニ報告スヘシ

第四十四條 軍醫官ハ分擔病室ノ衛生ニ注意シ換氣、燂室、洒掃、消毒等ノ施行ヲ監督シ又病室備付治療品及通常物品ノ保存、消耗品ノ節約ニ注意スヘシ

第四十五條 軍醫官ハ分擔患者ニ係ル書類ヲ起案調製整頓スヘシ

第四十六條 軍醫官病の検査主任ヲ命セラレタルトキハ細菌學的及病理學的の検査ニ從事シ其ノ成績ノ正確ヲ期シ又病的検査室ヲ整頓スヘシ

第四十七條 軍醫官統計報告主任ヲ命セラレタルトキハ所屬看護手看護ヲ指揮シテ醫務ニ關スル統計報告書類ヲ起案調製スヘシ

第四十八條 軍醫官外來診察主任ヲ命セラレタルトキハ院内下士卒及外來患者ノ診療ヲ掌リ且之ニ關スル醫務ヲ處理スヘシ

第四十九條 軍醫官消毒所附ヲ命セラレタルトキハ消毒所長ノ指揮ニ從ヒ消毒所所掌ノ事項ヲ分擔スヘシ

第五十條 少軍醫候補生ハ院長ノ命ヲ承ケ軍醫官ノ助手ト爲リ其ノ業務ヲ實習シ學術ヲ

百五十九

海軍

研究スヘシ

第五十一條 少軍醫候補生ハ交番當直勤務ニ服シ當直軍醫官ノ事務ヲ實習スヘシ

第五十二條 藥劑官治療品供給掛ヲ命セラレタルトキハ藥劑科長ノ指揮ニ從ヒ範圍其ノ他各部用治療品及患者費所屬通常物品ニ關スル事務ヲ分掌シ又藥劑科所屬雇員僱入ノ業務ヲ監督シ治療品倉庫及研磨室ヲ整頓スヘシ

第五十三條 藥劑官試驗主任ヲ命セラレタルトキハ藥劑科長ノ指揮ニ從ヒ藥品其ノ他ノ検査ニ從事シ成績ノ正確ヲ期シ又試驗室ヲ整頓スヘシ

第五十四條 藥劑官藥局主任ヲ命セラレタルトキハ藥劑科長ノ指揮ニ從ヒ調劑製煉其ノ他病院用治療品ノ保管受拂ニ關スル事務ヲ分掌シ調劑室同附屬室ヲ整頓スヘシ

第五十五條 少藥劑士候補生ハ院長ノ命ヲ承ケ藥劑官ノ助手ト爲リ其ノ業務ヲ實習シ學術ヲ研究スヘシ

第五十六條 軍醫官及藥劑官ハ所屬看護手以下ヲ誘掖指導シ其ノ性行技能ヲ詳知シ進退ニ關シテハ案ヲ具シ部長科長若ハ所長ニ提出シ且其ノ議ニ參與スルモノトス

0531

國立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第五十七條 看護長(看護師)ハ上官ノ命ヲ承ケ定員看護手看護及雇員傭人(藥劑科及上等筆記所屬ノ者ヲ除ク)ノ業務行動ヲ監督シ其ノ性行技能ヲ詳知スヘシ

第五十八條 看護長(看護師)ハ定員看護手、看護、雇員傭人(藥劑科及上等筆記所屬ノ者ヲ除ク)及入院下士以下患者ヨリ差出ス諸願届ノ進達ヲ取扱フヘシ

第五十九條 看護長(看護師)ハ副長ノ命ヲ承ケ共同浴室、汽浴室、死體室及汚物焼却場ニ關スルコトヲ掌ルヘシ

第六十條 看護長(看護師)ハ第二部長ノ命ヲ承ケ消毒室ニ關スルコトヲ掌ルヘシ

第六十一條 看護長(看護師)ハ副長ノ命ヲ承ケ兵舎内ノ整頓ニ注意スヘシ

第六十二條 看護長(看護師)ハ上官ノ命ヲ承ケ病室消毒室及汽浴室ノ通常物品ニ關スルコトヲ掌リ消耗品ノ節約ヲ圖ルヘシ

第六十三條 看護長(看護師)ハ副長ノ命ヲ承ケ入院患者ノ衣履及私有物品ノ取扱ヲ爲スヘシ

第六十四條 看護長(看護師)ハ毎日一回以上院内各部ヲ巡視シ諸建築物ノ保存ニ注意シ

若シ修理ヲ要スルト認ムルモノアルトキハ之ヲ副長ニ開申スヘシ

第六十五條 看護長(看護師)(藥劑科附ヲ命セラレタルトキハ藥劑科長ノ命ヲ承ケ治療品ノ購買賣却供給及患者費支辨通常物品ニ關スル事務ニ從事スヘシ

第六十六條 看護長(看護師)消毒所附ヲ命セラレタルトキハ消毒所長ノ命ヲ承ケ所屬ノ下士以下ヲ指揮シテ消毒ノ實務ニ從事シ又備付通常物品ニ關スルコトヲ掌リ消耗品ノ節約ヲ圖ルヘシ

第六十七條 上等筆記ハ上官ノ命ヲ承ケ被服糧食其ノ他給與ニ關スルコトヲ掌リ筆記、厨宰、洗濯夫、賚夫ノ業務行動ヲ監督シ其ノ性行技能ヲ詳知スヘシ

第六十八條 上等筆記ハ副長ノ命ヲ承ケ賚所及洗濯所ニ關スルコトヲ掌ルヘシ

第六十九條 先任看護手ハ看護長(看護師)ヲ補佐シ下士卒ノ業務行動ヲ監督スヘシ

第七十條 看護手病室長ヲ命セラレタルトキハ上官ノ命ヲ承ケ看護ヲ指揮シテ患者ノ看護及室内ノ洒掃、煖室、通氣、消毒等ニ從事シ備付ノ治療品通常物品ニ關スルコトヲ掌ルヘシ

0533

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

第七十一條 看護手病室長タルトキハ病室ニ出入スル面會者等ノ携帶品ノ検査莫ノ他ノ

取締ニ任シ在室患者ニ犯則者アルトキハ其ノ事實ヲ軍醫官ニ届出ツヘシ

第七十二條 看護手藥劑科、消毒所其ノ他ニ配置セラレタルトキハ各上官ノ命ヲ承ケ看

護ヲ指揮シテ各其ノ業務ニ従事スヘシ

第七十三條 看護ハ上官ノ命ヲ承ケ各其ノ業務ニ従事スヘシ

第七十四條 筆記ハ上官ノ命ヲ承ケ庶務ヲ補助スヘシ

第七十五條 筆記ハ上等筆記ノ指揮ヲ承ケ被服物品及給與ニ關スル事務ヲ分擔スヘシ

第七十六條 厨宰ハ上等筆記ノ指揮ヲ承ケ糧食ノ受入調理献立ヲ分擔シ賄夫ヲ指揮シテ

炊爨配給ヲ處辨スヘシ

第七十七條 書記ハ上官ノ命ヲ承ケ文書ノ起案淨書發送等ノ庶務及廳費支辨通常物品ニ

關スルコトヲ掌ルヘシ

達第百二十號

明治三十六年^{十一月} 達第百三十一號通常物品出納命令官會計官吏表中左ノ通改正ス

明治四十三年九月十五日 海軍大臣 男爵齋藤 實

一、品名ノ欄「鎮守府所在各廳患者費所屬物品」ノ項會計官吏中「療品庫主管」ヲ「藥劑科長」ニ改ム

達第百二十一號

海軍兵備品會計規程第三條兵備品出納命令官會計官吏區分表中左ノ通改正ス

明治四十三年九月十五日 海軍大臣 男爵齋藤 實

一、品名ノ欄「軍事教育圖書」ノ項兵備品取扱主任中「先任將校分隊長」ヲ「專務將校分隊

百六十二 海軍

長中首席者」ニ改ム

一、同上「治療品」ノ項兵備品會計官吏中「療品庫主管」ヲ「藥劑科長」ニ兵備品取扱主任中

「病院先任藥劑官」ヲ「藥劑科長
先任藥劑官(旅順病院)」ニ改ム

一、備考ニ左ノ一項ヲ加フ

軍事教育圖書ノ兵備品取扱主任ニ專務將校分隊長ナキトキハ兼務將校分隊長中首席者ヲ以テ之ニ充ツ

達第百二十二號

糧營需品經理規程別表第二號糧營需品直買品名表中鹽化カルシウムノ小書「製氷機用」ノ四字ヲ削ル

明治四十三年九月十五日 海軍大臣 男爵齋藤 實

0534

達第百二十三號

横須賀鎮守府在籍

驅逐艦 電

右帝國驅逐艦籍ヨリ除カル

明治四十三年九月十五日

海軍大臣 男爵齋藤 實

達第百二十四號

艦艇類別等級別表中「電」ヲ削ル

明治四十三年九月十五日

海軍大臣 男爵齋藤 實

百六十三

海軍

0535

明治四十三年九月十六日
海軍大臣男爵齋藤實



達第百二十五號

艦砲射撃、魚形水雷發射、通信術及機關高力運轉褒賞授與手續左ノ通定ム

明治四十三年九月十六日

海軍大臣男爵齋藤實

艦砲射撃、魚形水雷發射、通信術及機關高力運轉褒賞授與手續

- 第一條 艦砲射撃褒賞令施行規則、魚形水雷發射褒賞令施行規則、通信術褒賞令施行規則及機關高力運轉褒賞令施行規則ニ依リ褒賞ヲ授與スルトキハ本手續ニ依ルヘシ
- 第二條 檢定射撃、檢定發射、各個信號(電信)術檢定及檢定汽釀褒賞授與式ハ陸上適宜ノ場所艦隊ニ在リニ於テ之ヲ施行スルモノトス
- 第三條 檢定射撃褒賞授與式ニハ左記第一號、檢定發射褒賞授與式ニハ第二號、各個信號(電信)術檢定褒賞授與式ニハ第三號、檢定汽釀褒賞授與式ニハ第四號ノ諸官適宜之ニ參會スルモノトス
- 一、在港各艦團部隊長各艦砲術長砲臺長驅逐艦長水雷艇長及檢定射撃委員



百六十四

海軍

- 二、在港各艦團部隊長各艦水雷長驅逐艦長水雷艇長及檢定發射委員
- 三、在港各艦團部隊長各艦航海長(水雷長)驅逐艦長水雷艇長及各個通信術檢定委員
- 四、在港各艦團部隊長並機關長驅逐艦長水雷艇長驅逐隊艇隊機關官及檢定汽釀委員
- 第四條 毎年度ノ戰術射撃、戰術發射、一般通信術檢定若ハ戰術運轉ヲ了シシ優等艦艇隊決定セハ海軍大臣之ヲ部内一般ニ公示ス
- 第五條 優等艦艇隊ノ現所屬長官ハ優等艦ヲ海軍大臣ヨリ受領シ其ノ授與式日ヲ定メ海軍大臣ニ報告シ麾下一般ニ公示スルモノトス
- 第六條 優勝旗授與式ハ軍艦ニ在リテハ其ノ艦ニ於テ、驅逐艦以下ニ在リテハ要港部水雷團若ハ所屬母艦艦隊ニ附屬セル場合ニ在リテハ其ノ統率セル司令官ノ艦艇ニ於テ之ヲ施行スルモノトス
- 第七條 優勝旗授與式ニハ時宜ニ依リ海軍大臣海軍教育本部長參列シ艦砲射撃優勝旗授與ノ場合ニ在リテハ左記第一號、魚形水雷發射優勝旗授與ノ場合ニ在リテハ第二號、通信術優勝旗授與ノ場合ニ在リテハ第三號、機關高力運轉優勝旗授與ノ場合ニ在リテハ第四號ノ諸官適宜之ニ參會スルモノトス

0536

- 一、在港各艦團部隊長各艦砲術長驅逐艦長水雷艇長及戰團射擊委員
- 二、在港各艦團部隊長各艦水雷長驅逐艦長水雷艇長及戰團發射委員
- 三、在港各艦團部隊長各艦航海長水雷長驅逐艦長及一般通信術檢定委員
- 四、在港各艦團部隊長並機關長驅逐艦長水雷艇長驅逐隊隊機關官及戰團運轉委員
優等艦ノ乗員ハ總員其ノ式場ニ整列スルモノトス驅逐艦水雷艇ニ在リテハ差支ナキ限
リ其ノ乗員ヲ式場ニ列セシムヘキモノトス
- 第八條 優勝旗ハ所屬長官自ラ之ヲ優等艦艇長若ハ司令ニ授與スルモノトス
- 第九條 式場ノ設備ハ別紙圖例第一及第二ニ依ルヘシ但シ必要ナルトキハ適宜之ヲ變更
スルコトヲ得(圖例參看)
- 第十條 本手續ニ依ル各授與式ノ服裝ハ通常禮服トス
- 第十一條 優勝旗ヲ得タル艦艇隊ノ乗員ニハ各自一日ノ休暇ヲ與フルコトヲ得
- 第十二條 褒狀ノミヲ授與スルトキハ適宜本手續ヲ省略スルコトヲ得
- 第十三條 次期ノ戰團射擊、戰團發射、一般通信術檢定若ハ戰團運轉ノ優等艦艇隊決定シ

百六十五

海軍

タルトキ現ニ優勝旗ヲ保有シアル艦艇隊ハ再ヒ其ノ優等艦艇隊タルト否トニ拘ラス之
ヲ所屬長官ニ返納スヘシ次期ノ戰團射擊、戰團發射、一般通信術檢定及戰團運轉ヲ施行
セサルトキ亦同シ但シ其ノ返納期日ハ所屬長官之ヲ指定スルモノトス

第十四條 各種檢定褒賞ヲ授與スルニ當リ受賞者或ハ其ノ乘艦他所管ニ轉屬シアル場合
ニ在リテハ之ヲ新所屬長官ニ移讓スヘシ

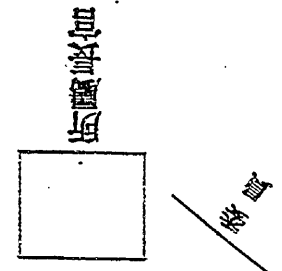
附 則

艦砲射擊及魚形水雷發射褒賞授與手續ハ之ヲ廢止ス(濟) 明治四十二年達第百三十一号

0537

(圖例第一、檢定射擊、檢定發射、各個信號(電信)循檢定及檢定汽、礮發射授與式)
 (本圖例ハ旗艦ノモノヲ示ス陸上ニテハ之ニ準スルモノトス)

本艦本組乗組員以上 本艦本組乗組員以下士卒



者賞受

參會者 各艦ヨリ募集受賞下士卒



(圖例第二、及檢定射擊優勝旗、魚形水雷發射優勝旗、通信術優勝旗)
 及機關高力運轉優勝旗授與式

參會者 各艦ヨリ募集受賞下士卒



艦長
 副長
 砲術長
 水雷長
 通信長

(長隊分官關機)長隊分拔將
 上以官士准
 (員部關機)(員機信)(員管射發)員砲

射擊(發射)(檢定)(運轉)委員 下士卒



大正十三年達
オニテラツテ
本号終止
廢止

達第百二十六號

水路測量ノ爲内地沿岸へ出張スル者ニ支給スル旅費ノ日當、宿泊料及食卓料別表ノ通定

明治四十三年九月十六日

海軍大臣 男爵 齋藤 實

本達ハ明治四十三年九月十六日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)

官	日當		宿泊料		食卓料	備考
	甲額	乙額	甲額	乙額		
等	一圓五十錢	一圓二十錢	一圓八十錢	一圓五十錢	一圓	日當及宿泊料ハ測量地到着ノ翌日ヨリ發程ノ前日迄之ヲ支給ス但シ艦船乗員測量地ニ於テ本艦ヲ離レ測量ニ從事スルトキハ其ノ日ヨリ歸艦歸船ノ日(宿泊料ハ歸艦ノ前日)迄本表ノ額ニ依ル 食卓料ハ艦船附屬又ハ官用ノ船艇ニテ測量ニ從事シ該船艇内ニ起臥スル場合ニ限り其ノ夜數ニ應シ之ヲ支給ス 艦船乗員測量ノ爲出張シ一日内ニ往復スル場合ニ於テ水路三十海里以上ニ及フトキハ日當ノ半額ヲ支給ス 北海道千島沿岸ノ測量ニ從事スル者ニハ甲額ヲ支給シ其ノ他ノ地ノ測量ニ從事スル者ニハ乙額ヲ支給ス
上長官、士官候補	一圓五十錢	一圓二十錢	一圓八十錢	一圓五十錢	九十錢	
高等文官三等以下試補	一圓五十錢	一圓二十錢	一圓八十錢	一圓五十錢	七十錢	
生補判任文官下	一圓五十錢	一圓二十錢	一圓八十錢	一圓五十錢	六十錢	
士官判任官見習雇員、傭人	一圓五十錢	一圓二十錢	一圓八十錢	一圓五十錢	五十錢	
海軍					百六十六	

0539

達第百二十七號

明治三十七年三月達第五十三號患者依託治療及收療ニ關スル件第三條中「及艦營傭人」ヲ
「艦營傭人及關東州ニ派遣中ノ職工人夫」ニ改ム

明治四十三年九月十六日

海軍大臣 男爵齋藤 實

百六十七

海軍

0540

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

達第百二十八號

海軍下士卒身上取扱規則中左ノ通改ム

明治四十三年九月二十日

海軍大臣 男爵 齋藤 實

第三條 削除

第六條ノ二乃至第六條ノ四中「水雷敷設隊」ヲ「敷設隊」ニ改ム

第八條中「兵事官」ヲ「人事部長」ニ改ム

第十一條 下士卒ニハ命課ノ辭令書ヲ下付セサルモノトス但シ一等下士ニ准士官職務心得ヲ命免スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 削除

第十三條 削除

第十四條 艦團其ノ他各部ノ長ハ現役又ハ兵役ヲ免セラルヘキ部下下士卒ヲ海兵團ニ入團セシムルニ際シ服役中ノ成績良好ト認ムル者アルトキハ別紙様式ニ依リ服役成績書

百六十八

海軍

二通ヲ調製シ海兵團長ヲ經テ一通ハ現役ヲ退クトキ之ヲ本人ニ下付シ他ノ一通ハ在籍鎮守府ノ人事部長ニ送付スヘシ但シ人事部長ニ送付スル服役成績書ニハ之ヲ調製シタル理由ヲ添記スヘシ

第十四條ノ二 海兵團長ハ前條ニ依リ入團シタル下士卒ニシテ在團中ノ服務狀況ニ鑑ミ服役成績書ヲ下付スル資格ナキ者ト認ムルトキハ之ヲ調製シタル前所轄長ニ協議シ本人ニ下付セサルコトヲ得

第十四條ノ三 海兵團長ハ在來ノ部下下士卒ニシテ現役ヲ退クニ當リ服役成績書ヲ下付スヘキ者アルトキハ第十四條ヲ準用スヘシ

第十六條中「海軍下士卒服役條例第三十八條」ヲ「海軍下士卒服役條例第四十二條」ニ改メ「兵事官ヨリ地方廳ヲ經テ」ヲ「人事部長ヨリ」ニ改ム

第十七條中「海軍下士卒服役條例第十六條」ヲ「海軍下士卒服役條例第二十三條」ニ改ム

第十八條 削除

第二十條 海兵團長ハ補缺員タル下士卒中殊ニ勤務ニ熱シ品行方正ニシテ海軍下士卒服

0541

役條例第二十六條又ハ第三十二條ニ該當スル者アルトキハ之ヲ鎮守府司令長官ニ具申スヘシ

第二十一條 歸休下士及ノ兵籍ハ海軍志願兵徵募區ノ區分ニ從ヒ其本籍地ヲ管スル鎮守府ニ屬セシム

再服役承認人員調様式及伎倆證明書様式削除

服役成績書様式左ノ通改正ス

服役成績書様式(用紙美濃半葉野紙)

服役成績書

族籍

官(職)位 勳氏名
年 月 生

右現役中品行方正ニシテ何々ノ職務ニ從事シ技藝熟達ノ者ト認ム
年 月 日

職官 爵氏名 團

百六十九
海軍

達第二百二十九號

海軍准士官下士文官志願者取扱内規書式中(下士ニアリテハ技師證)ヲ(下士ニ在リテハ服役處ニ改メ同備考中「徵募官」ヲ「人事部長」ニ改ム

明治四十三年九月二十日

海軍大臣 男 齋藤 實

達第三百三十號

海軍敬禮式中左ノ通改正セラル

明治四十三年九月二十九日

海軍大臣 男 爵 齋 藤 實

第二十四條 軍人 天皇ニ拜謁スルトキハ先ツ御室ノ外ニ於テ敬禮シ然ル後御室ニ入り直ニ敬禮シ更ニ進ミテ玉座ヲ距ルコト約六歩ノ所ニ於テ最敬禮ヲ爲シ終リテ退歩シ御室ノ出口ニ於テ敬禮シ御室ヲ出テ更ニ敬禮ヲ行ヒタル後退去スヘシ但シ宮中等ニ於テ特ニ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ最敬禮ハ不動ノ姿勢ヲ取り先ツ 天皇ニ注目シ次ニ體ノ上部ヲ前約四十五度ニ傾ケ頭ヲ正シク上體ノ方向ニ保ツ外前條ニ同シ

第二十四條ノ二 賢所參拜其ノ他拜神ノトキハ拜禮ヲ行フヘシ 拜禮ノ方法ハ神靈ニ對シ最敬禮ト同一ノ方法ヲ以テ行フ

第二十四條 削除

百七十

海 軍

第三十七條ノ二 室外ニ於テ 天皇ニ奏上スルトキハ玉座ヲ距ル約六歩ノ所ニ於テ敬禮シ適宜ノ距離ニ進ミテ奏上シ奏上終リタルトキハ玉座ヲ距ル約六歩ノ所迄退歩シテ敬禮ヲ行ヒ退去スヘシ 前項ノ奏上中ハ特別ノ場合ノ外始終敬禮ノ姿勢ニ在ルモノトス